

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ファミリールームりぼん			公表日	令和8年3月13日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・活動内容に応じ、スペースの確保 ・公園や児童館などで室内、室外活動を分けて行っている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・児童数を確認し、職員の適切な配置数の確認を行っている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・スペースは大きな段差などなく広く遊べる空間 ・ルールを理解しやすいように視覚化を図り、また時間区切るところは時計やタイマーなど使用し音でも理解できるように促している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・活動前の清掃を行っている ・担当決め、施設内の清掃も行っている ・その日の活動でスペースの確保を事前に行っている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・小部屋で勉強やクールダウンなどの気持ちを落ち着かせるために過ごすこともできるようになっている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・月に1回職員会議を行っている	・子どもたちの支援方法、振り返りで施設全体の課題点を見つけていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・評価表の取り扱いについては周知している	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・アンケートを実施することで課題が明確化している	・共有方法の見直し ・日頃からも意見を出してもらい、課題を見つけていく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	・以前行ってから年数が経っている	・第三者評価の実施を検討する
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	・勉強会や研修の実施について掲示をしている	・積極的に参加していけるような工夫、分かりやすい案内を見直していく
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・ホームページにて公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	・実施している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・担当決めをし、複数職員で支援計画を立てている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2	・実施している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	・家庭、学校、学童等と連携しながら実施している	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・個別支援計画の作成の際に、ガイドラインと照合し、適切に設定されているか確認している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	・担当職員を中心に行っている	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・各イベントはそれぞれに講師を呼び、毎回違った内容を提供したり、各担当が児童に合った内容を考えている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・こどもに合った支援方法を検討しながら組み合わせを行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・支援開始前に当日の変更点などを共有、引き継ぎ内容の確認、前日の様子は日誌、口頭で話し合っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	・日誌に共有事項の記載、記録をとりながら全職員が共有できるようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	・日誌にて記録をし、改善に努めている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	・定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	・ガイドラインに基づき、個別支援計画の作成を行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・自分の好きなものややりたいことを選択できるようにし、自己決定の力を育てるよう計画を行っている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・児童発達支援管理者を中心に参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・必要に応じ、他事業所、関係サービス機関と連携しながら体制を整えている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1	・保護者様のご協力の下、学校との情報共有を行っている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	・書類でのやりとり、電話等での共有を図っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	・行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		・機会を設けて研修等行っていきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	・児童館を利用させていただいており、その場での交流はある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2	・参加可能な日で調整しながら参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎時のやりとり、面談、電話相談などを通じて共通理解を深めている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		・ペアレントトレーニング等は実施できていないため今後検討していきたい	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・保護者との面談やこどもたちと直接話し合うことで意向を確認している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・実施している	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・相談があれば電話や面談で話し合ったり、気軽にLINEやメールでも相談できる場を設けている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	・保護者会等での交流する機会を設けている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・苦情相談窓口を設置している ・何か苦情があった場合には迅速に対応できる体制を整えている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・HP、保護者との連絡ツールとして「コドモン」の利用、おたより、おしらせなどの配信を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・研修時には取り扱いに十分に注意している ・個人情報の書類は鍵付き書庫で保管している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・こどもの状況に応じて、配慮していかなければならない事項は保護者と共有している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	・季節行事でハロウィンやクリスマスなどのイベントにて地域の方との交流を深めている	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・月1回、避難訓練等であらゆる場面を想定しながら訓練を実施している	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・同上	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・契約時に保護者へ必ず確認を行っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・実施している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・安全計画に基づき、支援を提供している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・安全計画に基づく取組みを周知している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・内容確認をし、予防に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	2	・研修の場を設け、実施している	・受けている職員にばらつきがあるため研修の場を広めていきたい
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	・契約時に保護者へ必ず確認を行っている		